

第5回（仮称）台東区産業振興計画策定委員会

日時 令和7年1月23日（木）
会場 中小企業振興センター 2階会議室

文化産業観光部産業振興課

**1 出席者
(14名)**

委 長
副委員長

懸田 豊
伊藤 匡美

委 員
委 員
委 員
委 員
委 員
委 員

田村 和義
金澤 守利
長堀 慶太
田中 耕太郎
清田 祐次
伊藤 康博

(代理出席 三木氏)

委 員

岡崎 健一
(代理出席 小早川氏)

委 員
委 員
委 員
委 員
委 員

西島 裕樹
平川 浩一
関井 隆人
内田 円
上野 守代

**2 欠席者
(1名)**

委 員

森本 佳直

3 事務局

文化産業観光部産業振興課

(午後2時00分 開会)

1 開 会

2 報告事項

(1) 前回策定委員会の振り返り

○事務局

—前回策定委員会の振り返りについて説明—

○懸田委員長

何かご意見、ご質問はありますでしょうか。

(特になし)

資料2について、ご説明をお願いします。

(2) パブリックコメント結果について

○懸田委員長

何かご意見、ご質問はありますでしょうか。

(特になし)

本日の議案に進みます。

3 議 題

(1) 「TAITO COMPASS ～産業振興ビジョン～」(最終案)について

○事務局

—ビジョン(最終案)について説明—

○懸田委員長

何かご意見、ご質問はありますでしょうか。

○平川委員

非常に良いものに仕上がったと思います。前半のところで写真が使われていますが、写真の出所、著作権は大丈夫ですか。また、コラムの背景に格子がありますが、ファイルで見たときには、若干、文字が読みづらい印象がありました。ただ、紙ベースで見ると、きつく感じません。場合によっては、この格子の色を薄くするとかしてみても良いのではないのでしょうか。

○事務局

写真については、コラムに掲載している事業者や団体から提供していただいていますので、掲載を前提に承諾を得ています。格子は方眼紙をイメージしていますが、データで見ると、印刷機によっても格子の出方が違います。もう少し薄い色を選びたいと思います。

○伊藤副委員長

ネットでも公開されることもご確認されていますか。

○事務局

公開場所は区のホームページであることを伝えていますが、限定的に承諾を取ってはいないので、公開までの間に確認したいと思います。

○伊藤副委員長

そのまま載せますか。

○事務局

そのまま載せます。

○懸田委員長

同様のことですが、Chapter 3 で色々と統計的なものから立ち位置を明確にいただいています、これの出所について Chapter 3 に掲載した方が良いのではないのでしょうか。

○事務局

見やすさを優先しています。出所については、資料編で順番に載せています。そのため、Chapter 3 では出所までは書いておりません。

○懸田委員長

資料編には、Chapter 3 にあるもの以上のものが示されているのはわかりますが、それはそれで、どこかに示しておかないと、これが外に出て、色々な問い合わせがあったり、それが独り歩きしたりとか。見やすさ優先だとしても、そのあたりの扱いは、慎重にご検討ください。

○伊藤副委員長

P38～39 あたりですが、OODAは全角ですが、Vision は半角です。このあたりの統一感は大丈夫ですか。

○事務局

全角、半角のルールとしては、略語になっているものは全角、英語の単語は半角としています。

○田中委員

P70 に伝統工芸が挙げられていますが、出典元が書いてありません。

○事務局

これは東京都の資料をもとにしていますので、そこからの抜粋という記載をしたいと思います。

○伊藤副委員長

P70 と P72 の①はいらないと思います。

○事務局

修正します。

○懸田委員長

田中さんがご指摘した伝統工芸のところは説明の追記が必要だと思います。主な製造地が台東区とありますがどういう意味でしょうか。

○田中委員

各伝統産業の上位3地域を主要産地としているようです。台東区には、色々な業種があるということだと思います。

○伊藤副委員長

主な製造地の後に注を付けて、田中さんが仰ったことを書けば良いのではないのでしょうか。

○懸田委員長

出所も書かれるので、脚注で「主な」の説明をしていただければと思います。

○清田委員

素晴らしいものができたと思います。表紙の次のページに、日付やどなたが発信しているのか。台東区長なのか、策定委員会なのか。どこが発信しているのかを記載し

た方が良いのではないかと思います。

○事務局

奥付で発行元を入れる予定です。今回は、策定年月日はあえて入れていません。表紙には載せませんが、どこに年月日を記載するのかは、整理させていただきます。

○田村委員

すごく良くできています。色合いもきれい。台東区は、一つの業種に特化しているというよりは、決まった色ではなく、様々な色がちりばめられていて、そこが表現されていると思います。P19に「ここを拠点に夢をカタチに」とありますが、例に挙げられているところは、全部が台東区からの支援を受けているところですか。

○事務局

家賃支援や助成金、融資等の制度を利用したということで線引きをさせていただいています。ここですべてを紹介している訳ではありませんが、総合的に選んで紹介しています。

○田村委員

何らかの支援の関係があるということですか。

○事務局

そうです。

○田村委員

冊子の部数は、どのくらいですか。

○事務局

冊子は 200 部です。ホームページ等でも公開します。また、概要版を作り、そちらをベースにお配りすることを考えています。概要版と区の支援策を紹介するチラシを合わせて配布して、台東区が事業者と一緒に目指したい方向性や支援内容を周知したいと考えています。

○田村委員

今の時代はたくさんの印刷物を作るよりは、色々な方法があるので。

○懸田委員長

概要版は、業界団体を含めて色々なところにお配りになると思いますが、どのくらいの量をお考えですか。

○事務局

今年度は 300 部を作成します。また、来年度、予算が確定していませんが、周知用のチラシを、概要版よりもさらに手にとりやすい形状で作ろうと考えています。

○西島委員

非常に見やすく、読みやすくブラッシュアップされています。事務局の皆様も大変ご苦労されたと思います。お疲れさまでした。一点、ご質問といたしますか、お願いといたしますか、この TAITO COMPASS のイラストを描いた方が、台東区で御活躍されているとの説明がありましたが、その方の紹介をあわせてしても良いのではないのでしょうか。また、以前も申し上げたかもしれませんが、本計画を周知する際に、ただホームページに掲載されているだけではなくて、ことあるごとに説明会等を開催してPRしていけると良いと思います。

○事務局

イラストレーターの紹介については、奥付でできればと考えています。また、作って終わりではなく、中身、想いを共感してもらうことがスタートだと思っています。PRについては、今後、様々な方法で行っていきます。

○長堀委員

非常に見やすく、今時で、ポップな感じで、おしゃれで良いと思います。これを見たジュエリー協会の人たちが、これを読んで、次にどうしたら良いのかと思います。先ほど、概要版を作って、チラシを折り込んでという話もありましたが、どうやって認知させていくかが重要だと思います。これを一般の事業者や起業を目指す人たちに知らしめるのは、意外と難しいと思います。そのあたりは、少しずつ進めていくという理解で良いでしょうか。

○事務局

周知については、これまでは広報紙に載せる、ホームページに載せる、配架する、で終わっていましたが、今は産業分野でも公式のSNSを使って色々な周知をしています。色々な媒体を検討しなければいけないと思います。コラムについても本編にしか載らないと思いますが、これだけ良い取組をしているということも周知したいと思います。できるところから始めたいと思います。色々な団体さんの総会に参加させて

いただき、説明の時間をいただくことも考えています。これまでのやり方とSNS等を組み合わせながら周知していきたいと思います。

○懸田委員長

P28に「指針を推進するために」と区の職員の方々がやるべきことが書かれています。是非、これを実現、担保する仕組みを設けてもらおうと良いと思います。

○伊藤副委員長

通常、産業振興ビジョンでは、区の現状と課題を整理して、この手を打ちます、という冊子になります。今回の場合、こういう方向性です、以上で終わっていて、区はどのような施策を打つの、というところがボヤっとしています。施策を書いても10年後には陳腐化するというのはもっともなことだと思います。ただ、この冊子だけ読むと、区は何もしないのかと思ってしまいます。なので、例えば、未来へのステップのところにQRコードを付けて、区は今こういう施策をとっていますよ、と飛べるようにした方が良いのではないかと思います。そういう工夫もあると良いと思います。

○懸田委員長

これに基づいて、様々な施策が出てきて、今後、区としての意思が明確になると思います。

それでは、今日いただいたご意見を踏まえて、小さな手直しや、これから議会を経ていく中での手直しは出てきますが、今日の最終案をご了解いただき、私と伊藤先生、職員の方々に手直しをお任せいただくということで、最終案をご了承いただけますでしょうか。

(一同、異議なし)

それでは、この委員会として、産業振興ビジョンの最終案を了承したいと思います。ホームページに全文を掲載するのですか。

○事務局

この冊子とほぼ同じ内容と概要版をホームページに掲載します。

○懸田委員長

コラムに黄色の線を引いていますが、その意味を誤解されないように、ここだけ読めばいいとならないように、工夫していただきたいと思います。

それでは、これで策定委員会の中で出来上がったTAITO COMPASSを議会にも出していききたいと思います。皆さまにご協力いただきまして、非常に良いものができました。

今回はコンパスということで、向きが変わればコンパスも変わります。そのあたりは柔軟に対応していただければと思います。1年間、ありがとうございました。これで策定委員会を終了します。

4 閉 会

(午後3時10分 閉会)